

問題番号	問題文	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	正答
21	次の表で示された（ホ）のあるべき在庫額（売価）を求めよ。	1500	1200	1000	1
22	次の表で示された（ヘ）不明ロス額（売価）を求めよ。	100	150	200	3
23	次の表で示された（ト）不明ロス率を求めよ。	0.05%	0.50%	5.00%	3
24	グローバルなロス調査（The Global Retail Theft Barometer 2014-2015）によれば、世界全体として不明ロスの総額はどのくらいか。	1.2、3.4 億ドル（日本円で1350 億円）	1.23、4 億ドル（日本円で1兆350 億円）	1.234 億ドル（日本円で1兆500 億円）	3
25	ロスの特徴のうち正しいものはどれか。	大部分のロスは発生した時点で判明する	ロスが削減できれば、削減した分が直接利益に貢献する	ロスが増えると販売管理費が増える	2
26	企業へのアンケートによる調査では日本の不明ロスの原因で最も多いものはどれか。	管理上のミス・犯罪以外のロス	万引	従業員による不正	2
27	営業利益率が3%でロス率が2%である場合、ロス対策への取り組みによってロス率を0.8%にすることができた。当初の営業利益高が3千万円とすると営業利益高はいくら増加し、改善された1100万円	1150万円	1200万円		3
28	前月に廃棄伝票や値下げ処理の起票の漏れがあった場合、正しく伝票処理されていた場合と比較して、今期の不明ロスはどうか。	不明ロス額は増える	一は減る	一は変わらない	3
29	期末棚卸で誤って二重に計上してしまった。その場合不明ロスは増えるか。	不明ロス額は変わらない	一は増える	一は減る	3
30	「機会ロス」の説明で正しいものはどれか。	機会ロスとは、理由の如何を問わず、顧客が欲しい商品を購入できなかった場合のこと	機会ロスとは、店舗に在庫があるにもかかわらず、売場に陳列されていないことだけを指す。したがって商品はあり、売場には陳列されているが、陳列場所が違っていることで商品を見つけれない場合は機会ロスには含まれない。	機会ロスとは、欠品を指し、店舗に在庫がある場合は、機会ロスではない。	1
31	不明ロス額がマイナスとなった。原因を調査した結果、期中売上高（売価）、廃棄（売価）、期首棚卸、期末棚卸がなかった。万引などの不正がない場合、何が原因と推測されるか。	期中の値下げ処理（値引きシールなど実施）の計上漏れ	期中仕入高（売価）の過剰計上	取引先から無償で提供を受けた試食用の商品を販売した。	3
32	以下の「不明ロスと業務プロセス上のあやまり」の図を完成させよ。	A. 機会（犯罪） B. 内部不正 C. 不明ロス	A. 機会（犯罪） B. 不明ロス C. 内部不正	A. 不明ロス B. 内部不正 C. 機会（犯罪）	3
33	管理ミスを未然に防ぐためには、①マニュアルに沿った教育をする、②手順やプロセスを明確に定めたマニュアルを作る、③正しく実施されていることを確かめる、の三つが重要である。何を最優先	①	②	③	2
34	次の表で示されたものの中に負（マイナス）のロスの例はいくつあるか。	2例	3例	4例	3
35	期中に「既に代金を受け取った顧客から預かっていた商品を誤って期末棚卸に計上した。」この場合、不明ロスはどのようになるか。	不明ロスが増える	不明ロスは減る	不明ロスはかわらない	2
36	期首棚卸で棚卸マップでの割り当てを誤り、二人に同じ場所での棚卸作業をさせたために二重に計上が発生した。この事実、期末棚卸のデータと比較して大きな差異があり、同じ場所と部門で全く不明ロスは変わらない	不明ロスは減る	不明ロスは減る	不明ロスは増える	3
37	Q34のようにロスが負（マイナス）になる場合をなんと呼ぶか。	逆ロス	管理ロス	過剰ロス	1
38	サイクルカウムの説明で正しいものはどれか。	部分的に一部門や一部のカテゴリだけの在庫を短期間に調査すること	定期的に実地棚卸を行うこと。	部門ごとに実地棚卸の回数は変えずに実施時期を変えること	1
39	次の表に示された、内部が原因のロスの発生しやすい業務と要因の空欄Aに入るものを選べ。	検品作業のミス	誤って商品の入った箱を廃棄	補充場所の誤り	1
40	次の表に示された、内部が原因のロスの発生しやすい業務と要因（不正の例）の空欄Bに入るものを選べ。	売場における万引ほう助	レジ取り消し操作の不正	廃棄すべき商品を持ち帰る	1
41	内部通報制度の流れについて正しい順序はどれか。	①調査②経営トップからの従業員への周知③通報窓口への通報と受信④フィードバック⑤報告	①経営トップからの従業員への周知②通報窓口への通報と受信③	①経営トップからの従業員への周知②調査③通報窓口への通報と受信④報告⑤フィードバック	2
42	就業規則について正しいものはどれか。	些細なミスでも就業規則に懲戒処分と定められていれば、当然その処分が課される。	就業規則に定めのない理由で労働者を解雇した場合、裁判で解雇処分を無効とされる場合がある	常時10人以上の労働者を使用する企業は、労働契約法に基づいて就業規則を定め、行政官庁に届けなければならない。	2
43	店舗内で商品の値札をすり替えて不当に安い値段で会計を済ました場合は、刑法上どれにあたるか。	窃盗	業務妨害	詐欺	3
44	万引の犯人が店舗スタッフに抵抗して怪我を負わせた場合は、刑法上どれにあたるか。	強盗・事後強盗	傷害	過失致傷	1
45	犯罪に該当しなくても、店舗のルールに従わない来店者は、店舗側に施設管理権があり、店舗の安全を担保することができる。では、次の行為の場合、退店を促すことができるものはどれか。	過去、万引で捕まえて、繰り返し万引したために警察を呼んで被害届を出した万引犯が来店した	店内禁煙にもかかわらず、やめるように注意しても、やめないでたばこを吸い続けた	店内の休憩用のベンチに長時間座っていた	2

項目	数値
期首在庫額（売価）	1100
期中仕入額（売価）	11000
期中売上高（売価）	10600
期中原価率	75%
期中値下、廃棄（売価）	100
期末在庫額（売価）	1200
あるべき在庫高（売価）（ホ）	?
不明ロス額	?
不明ロス率	?
期末在庫高（原価）	?

項目	数値
期中売上高（売価）	18100
期末在庫額（売価）	1400
期中原価率	80%
期首在庫額（売価）	1500
期中仕入額（売価）	18500
期中値下、廃棄（売価）	300
あるべき在庫高（売価）	?
不明ロス額	（ヘ）
不明ロス率	?
期末在庫高（原価）	?

商品名	期首実在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量
A	10	19	20
B	20	40	36
C	15	50	45
D	18	54	56
E	12	30	28

業務	ミス・エラーの例
入荷	A
陳列	商品の破損・汚損
販売	レジ操作のミス
返品	返品作業のミス
店舗間移動	店舗間移動のミス

業務	不正の例
入荷	検品結果の改ざん
陳列	B
販売	不正目的のレジ操作
返品	不正目的の返品
店舗間移動	店舗間移動結果の改ざん



Q23

項目	数値
期中売上高（売価）	4000
期末在庫額（売価）	700
期中原価率	73%
期首在庫額（売価）	1100
期中仕入額（売価）	3900
期中値下、廃棄（売価）	100
あるべき在庫高（売価）	?
不明ロス額	?
不明ロス率	（ト）
期末在庫高（原価）	?